

公募型プロポーザル方式 対象案件に関する質問・回答

工事名	平成29年度 横川ダム地点発電所建設工事
掲示日	平成29年7月5日
回答者	長野県企業局 南信発電管理事務所

No.	質問	回答
21	河川区域の境界を知りたい為、公図の公開は可能でしょうか。 (質問受付:平成29年6月26日)	公開できる図面等はありません。案件ごとに河川管理者との確認及び協議が必要です。
22	本工事及び仮設計画に伴い支障木伐採・抜根が必要となります。ダム下流の右岸・左岸及び現場進入路で国有林等の伐採が困難な樹木はありますでしょうか。 (質問受付:平成29年6月26日)	伐採困難な樹木等を把握していません。伐採範囲等を検討のうえ提案してください。
23	発電所新設後の運用上、配管の分岐部分に仕切弁は必要でしょうか？ (仕切弁がない場合、分岐部～入口弁の区間の点検等を行う際に、既設放流管を断水させることが必要ですが、可能でしょうか？農水用の0.04m ³ /sを常に供給するため、一切断水することはできないでしょうか？) (質問受付:平成29年6月26日)	分岐部分の仕切弁設置について特記仕様書では、指定していません。「効率的な発電方式の選定に関する提案」の「②メンテナンスが容易となる提案」として検討のうえ、提案してください。
24	参考資料で示されている放水口計画地点の護岸擁壁背面側の地質(侵入道路～河床までの深さの範囲)についても埋め戻し土と考えて良いでしょうか？(質問受付:平成29年6月26日)	埋戻し土を想定しています。土質の把握が必要な場合は、技術提案にしてください。
25	河川内のHWL887.000となる頻度はどのくらいでしょうか？本件工事期間中に通常の水位より大幅に増水する可能性はありますか？(河川内での作業可能時期・期間に影響するため確認する次第です。) (質問受付:平成29年6月26日)	図面記載の887.0mは設計洪水流量を流下させたときの水位です。この設計洪水量は、200年確率です。現行のダム運用を行う場合、流入量から農業用水量を除いた量が河川を流下します。ダム流入量実績の提供を希望される方は、担当事務所に請求してください。
26	残土をダム敷地内(親水公園より山側および河川左岸の敷地(旧搬入路跡?))に処分することは可能でしょうか？ (質問受付:平成29年6月26日)	「地域貢献」の「施工方法における課題対策に関する提案」として検討の上、提案してください。
27	自立運転時の想定負荷を教えてください。(仕様書では「発電所近傍の施設等に電力供給を行うことを想定」とされていますが、どのような施設を想定されていますか？) (質問受付:平成29年6月26日)	将来規制緩和等が図られた場合を想定しています。ダム管理所及び周辺地域の公共施設への供給を想定しています。
28	本工事で含まれる、将来の自立運転を可能とする設備(ダミーロード、自立運転用設備など)は、具体的にどこまで含まれるのでしょうか？ (質問受付:平成29年6月26日)	技術提案として検討の上、提案してください。
29	発電所新設にあたり既設ダムシステムを改修する予定はありますか？ (質問受付:平成29年6月26日)	既設のダム管理システム改修は本工事の対象外とします。技術提案内容によりシステム改修を計画します。
30	水車により発生する水撃圧について、導水管の許容水圧以内となるように抑える必要がありますが、既設導水管の許容水圧はいくらでしょうか？ (質問受付:平成29年6月26日)	既設放流管の設計資料及び図面等で確認してください。既設放流管の設計資料及び図面等の閲覧等を希望される方は、担当事務所に請求してください。